

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー






南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/22 （2/15との比較） 今後の見通し （※4）	2/22 （2/15との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.89% （▲0.00）	84.27円 （+1.00%）	+2.1% 2018年3Q	1.75%	発表された卸売売上高や小売売上高は市場予想を上回る結果。米中通商協議に対する進展期待など、外部要因に左右される展開となる中、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは横ばい。	CPI（消費者物価指数）や経常収支などが発表予定。CPIは航空運賃の上昇などから前月分を上回る見込み。引き続き、原油価格の動向には注意が必要であるものの、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	↑ 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.11% （+0.14）	29.54円 （▲1.01%）	+1.3% 2018年3Q	6.50%	特段重要な経済指標等の発表はなし。昨年の議会選で選挙資金を不正に利用していたとして、大統領府事務総局長官が更迭されたことなどをを受け、政治に対する不透明感が高まり、レアルは対円で下落。国債利回りは上昇。	GDP（国内総生産）や失業率などが発表予定。議会に提出された年金制度改革法案の法案成立には、上下両院で5分の3の賛成が必要のため、改革の実現には要注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Ba2	→ 金利横ばい	↑	↑ 景気回復	→ 据え置き局面		
メキシコ 	A-	8.09% （▲0.08）	5.78円 （+0.75%）	+1.8% 2018年4Q	8.25%	特段重要な経済指標等の発表はなし。米中通商協議が開催されている中、米国が中国に人民元の安定を要請しているとの報道を市場が好感したことなどから、メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	GDPや経常収支、小売売上高などが発表予定。引き続き、国営石油会社をめぐる財政問題や景気低迷が、通貨安と金融引き締めを促す可能性には注意が必要。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	A3	→ 金利横ばい	↑	→ 景気安定	↑ 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。




※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/22 (2/15との比較) 今後の見通し (※4)	2/22 (2/15との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気の方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.10% (▲0.00)	78.89円 (▲0.00%)	+2.8% 2018年3Q	1.50%	発表された雇用者数変化は市場予想を上回る結果。雇用統計の上振れや、米中通商協議進展期待などが好感されたものの、中国が豪州産石油に輸入制限実施との観測などから、豪ドルは対円で横ばい。国債利回りは横ばい。	製造業PMIなどが発表予定。米国のGDPや、中国のPMIが発表されることなどから、貿易摩擦による影響がどの程度現れているかには要注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.18% (▲0.01)	75.78円 (▲0.11%)	+2.6% 2018年3Q	1.75%	発表されたパフォーマンス・サービス指数は前回分を上回る結果。市場は次の材料待ちの状況となっており、方向感が見出しにくい環境だったことなどから、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	小売売上高や貿易収支、消費者信頼感指数などが発表予定。米中や米朝など、政治的な材料が多いことなどから、債券・為替市場はともにそれらを見ながらリスク許容度に影響を受けやすい展開を予想。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.66% (+0.04)	12.82円 (+0.21%)	+1.7% 2018年4Q	0.75%	特段重要な経済指標等の発表はなし。米中通商協議に対する思惑等を見ながらの一進一退の展開となったことなどから、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	消費者信頼感指数や小売売上高、失業率などが発表予定。また、米中や米朝の政治的な材料も注目され、債券・為替市場はともにリスク許容度の変化に影響を受けやすい展開を見込む。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	↑ 景気拡大	↑ 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/22 （2/15との比較）	2/22 （2/15との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.80% （▲0.18）	7.90円 （+0.70%）	+1.1% 2018年3Q	6.75%	発表されたCPIは市場予想を下回る結果。また発表された財務省の予算案が、同国の格付けにおいて、投機的な水準への格下げはないとの見方が広まったことなどから、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	PPI（生産者物価指数）や貿易収支などが発表予定。米中通商協議に出口が見え始めるなど、市場全般に材料不足となりやすい展開が想定される中、債券・為替市場はともに動意に欠ける展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.74% （▲0.09）	0.79円 （+0.87%）	+5.2% 2018年4Q	6.00%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。引き続き、金融安定性の維持と経常赤字の削減が主要目標だと強調したことなどから、ルピアは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業PMIやCPIなどが発表予定となっているものの、市場への影響は限定的と見込む。26日の国債入札では、投資家のインドネシア国債の需要度合いに要注目。為替市場は概ねレンジ内で推移する見込み。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	7.06% （+0.02）	1.56円 （+0.50%）	+7.1% 2018年3Q	6.25%	特段重要な経済指標等の発表はなし。原油価格が下落したことを受け、原油消費量の8割を輸入に依存する同国にはプラスに働くとの見方が広がったことなどから、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	GDPや製造業PMIなどが発表予定。中銀のハト派姿勢への転換や、財政拡張的な予算案などは、目先の成長を押し上げるものの、為替市場の不安定化にもつながることなどから、上値の重い展開を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

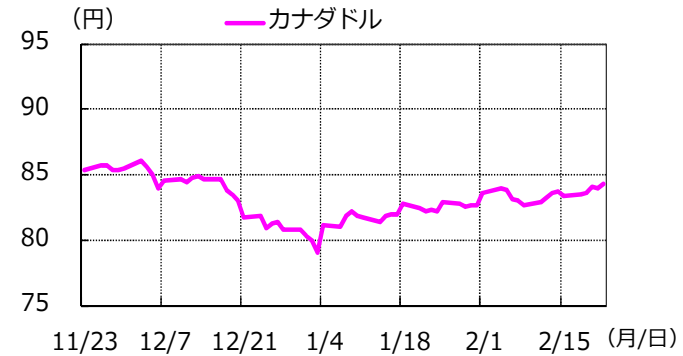
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

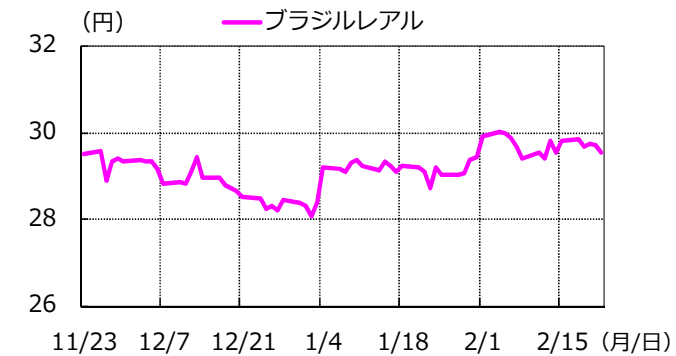
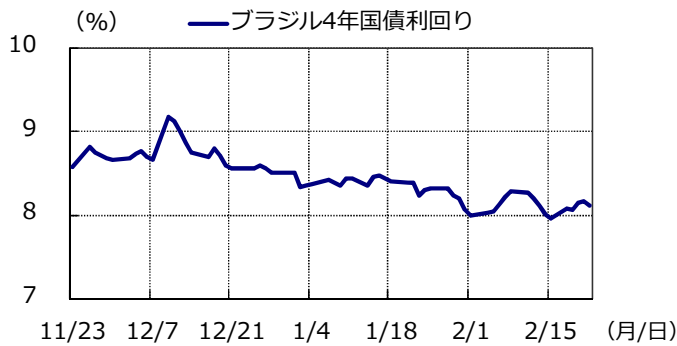
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/11/23～2019/2/22

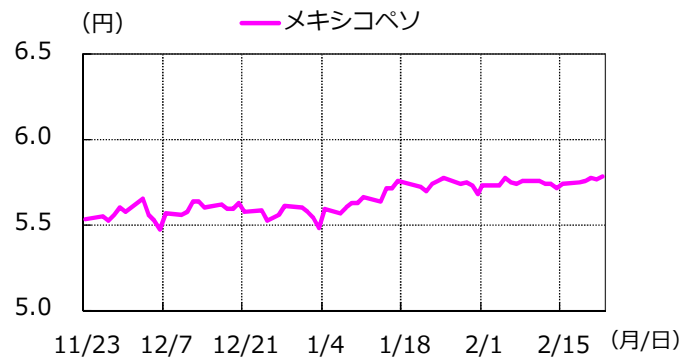
カナダ



ブラジル



メキシコ

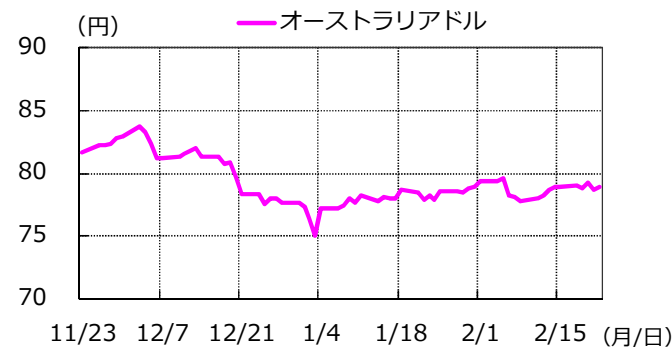


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

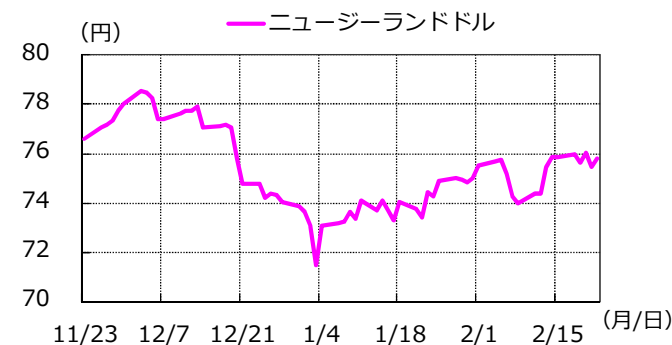
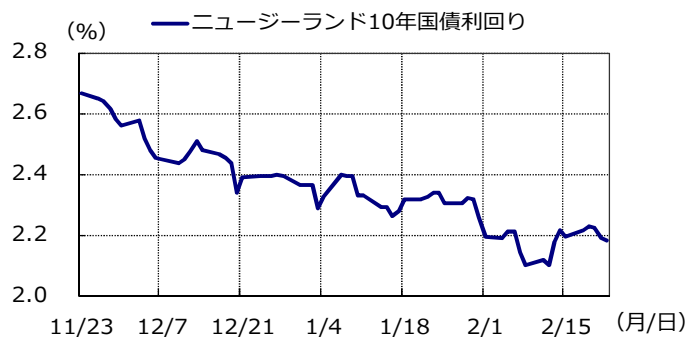
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/11/23～2019/2/22

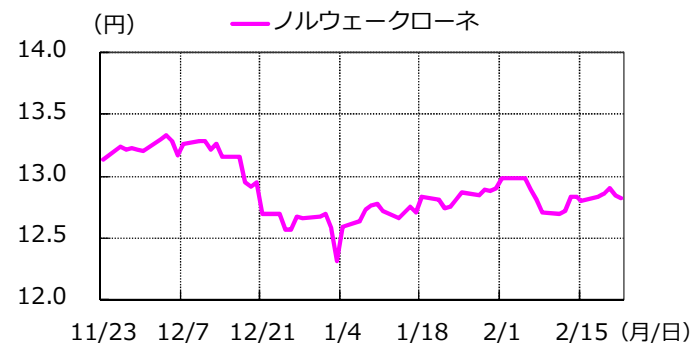
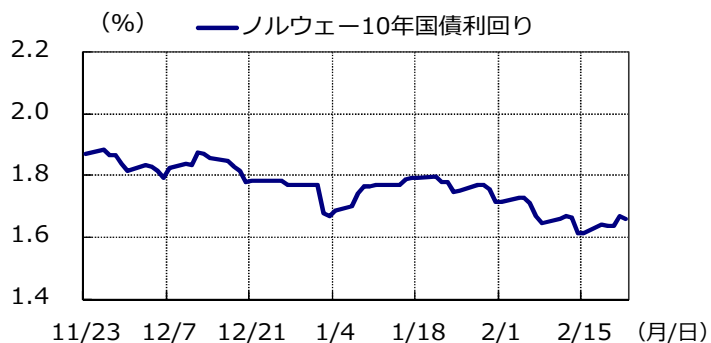
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

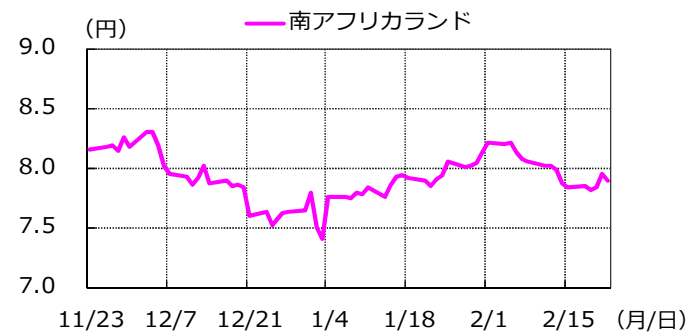


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

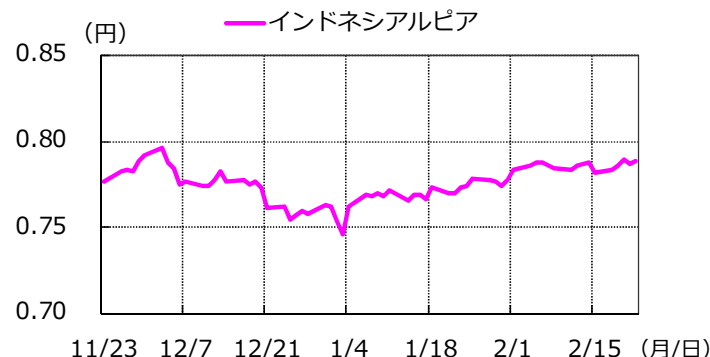
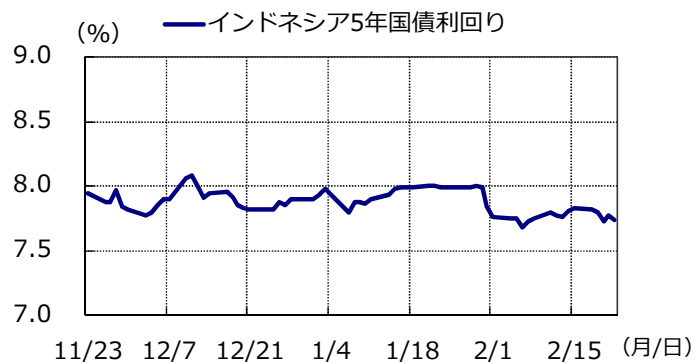
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/11/23～2019/2/22

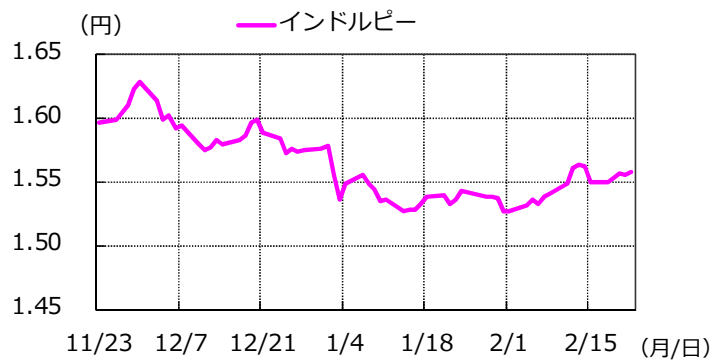
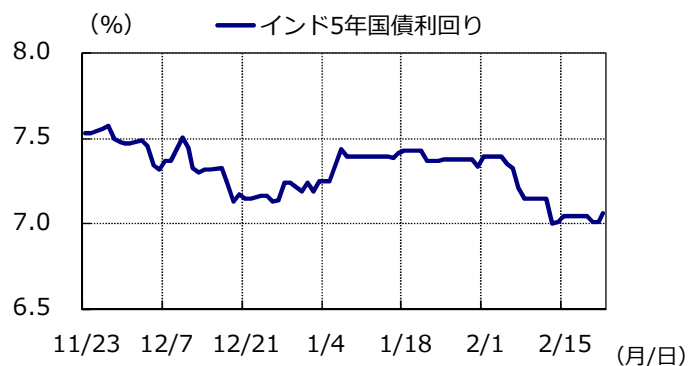
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。 出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。